

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(第14期 第1年 第3回 第1日)
ぎじろく
議事録

1 日時 2022(令和4)年10月16日(日) 午後2時00分～5時00分

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 20人

李 智永、イトウ ユリカ キヤレン、呉 多恵、グエン チュン ザン、タボ
ラメス、ドウマヤス アリヤン、野田 ユウリー、ヒリストバ ガブリエラ、
ブリツィナ タチヤナ、ペレーラ ラヒル サンケータ、マイ アサエル、
ムハマド アイマン アリフ、楊 子宜、ユデク マルチン、尹 智夏、李
歓歓、李 晨、刘 晨、林 芳安、レイバーマン ケビン

(2) 事務局

佐藤 課長、菅原 担当課長、佐藤 課長補佐、山本 担当係長、五十嵐
職員、高橋 専門調査員

4 傍聴者 5人

5 会議次第(公開)

(1) 開会

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

ペレーラ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議、2022年度第3回第1日を開催する。今日はアブドゥルさん、グエン ヌー フォン ザンさん、バさん、フィゲイロさん、劉 英杰さん、ロディーニさんが欠席だ。次に、今日から新しい代表者が加わることになった。簡単に自己紹介をお願いしたい。」

劉 晨委員「中国出身の劉 晨だ。日本に来て12年くらい経つ。今日、初めて代表者会議に参加したが、まず感じたのはみなさんの熱意だ。川崎市が外国人にとっても日本人にとっても、もっと住みやすいところになるようにみなさんと力を合わせていきたい。」

(拍手)

ペレーラ委員長「14期のメンバーとして、これからよろしくお願いいたします。それでは、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いします。」

(事務局佐藤課長補佐が説明)

ペレーラ委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし) それでは、議事に入る。まずは、2022年度年次報告書についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局五十嵐職員が資料3に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし) では、年次報告書の作成は事務局が案をつくり、代表者が確認をするというかたちで作成することに賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成) 次の議事はオープン会議についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料4に基づき説明)

ペレーラ委員長「続いて、実行委員会の報告を李さんからお願いします。」

李 歆 歆 副委員長「実施方法について、A案とB案のほかに林さんからC案とD案が出た。C案とD案はグループの数を2つではなく、4つにするという案だ。」

林 委員「何人の参加があるかわからないが、大人数だと手が挙げづらいことと、せっかくの機会なのでたくさんの方の意見を聞ければと思った。」

李 歆 歆 副委員長「あとは、交流会については、やりたいという意見が多かった。」

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。」

イトウ委員「2018年のときは、一般参加は何人くらいだったか。」

事務局高橋専門調査員「はっきりは覚えていないが、30人前後だったと思う。」

呉委員「コメントーターは、45分の時間がとってあるが何をするのか。」

事務局高橋専門調査員「45分というのは、各グループの意見を共有したりする時間も含んでいるので、コメントーターからのコメント自体は5分から10分ほどだ。コメントーターには大学の先生に来てもらうことが多いが、テーマによっては現場のことをよく知っている方に来てもらったこともある。」

李晨委員「A案とB案では、どちらもグループの数が2つだが何か理由があれば教えて欲しい。」

事務局高橋専門調査員「正副委員長会議では、グループ数は多い方がよいという意見もあった。ただし、コロナ禍でお互いに安心できる距離をとって話すということを考えて、2グループがよいのではないかということになった。4グループであれば、ある程度の距離は確保できると思う。」

ペレーラ委員長「ほかに何かあるか。(なし)それでは、決をとっていく。まずは、司会についてだ。実行委員会の中では林さんとブリツィナさんから希望があったが、ほかにやりたいという人はいるか。(なし)では、林さんとタチヤナさんでよいか。(異議なし)次に、実施方法について決めたい。A案に賛成の人は手を挙げてください。(9人)B案に賛成の人は手を挙げてください。(3人)C案に賛成の人は手を挙げてください。(7人)D案に賛成の人は手を挙げてください。(1人)A案に決定した。確認すると、グループの数は2つ、テーマについては3つずつで部会のテーマを扱う、メンバーは部会のメンバーとする。参加者には関心のある方に参加してもらおうというかたちだ。それでは、資料の続きの説明を事務局からお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料4に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし)では、まずはコメントーターについて決める。1人呼ぶのに賛成の人は手を挙げてください。(3人)2人呼ぶに賛成の人は手を挙げてください。(17人)2人呼ぶことに決定した。人選や調整、依頼については事務局にお願いする。最後に交流会をやるかどうかを決めたい。賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)それでは、次の議事に移る。次は、部会設置についてだ。事務局から説明をお願いす

る。」

(事務局高橋専門調査員が資料5に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし)では、何か意見はあるか。(なし)では、テーマのわけかたについては案のとおりでよいか。賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)では、次に誰がどの部会に入るか決める。順番に希望を教えてください。(順番に希望を確認)今日は欠席が6人で、Bの方がやや希望が多いが、Aに移ってもよいという人はいるか。(野田委員が挙手)ほかにいるか。(なし)それでは、A部会が8人、B部会が12人ということで、欠席の人には事務局から希望を確認してもらうこととする。続いて、テーマ名の変更について事務局から説明をお願いする」

(事務局高橋専門調査員が資料5に基づき説明)

ペレーラ委員長「説明にあったとおり、テーマ名の変更で、中身が変わるわけではない。何か質問はあるか。(なし)テーマ名の変更に賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)それでは、このあとは部会にわかれて審議だ。全体会の再開は16時30分からとする。」

【A部会】

事務局五十嵐職員「それでは、部会をはじめたい。これから、部会長と副部会長を選出させていただく。部会長と副部会長が決まるまで、私が仮の議長として進行させていただく。まずは、部会長と副部会長の役割と選出方法について確認する。(資料5に基づき説明)何か質問はあるか。(なし)では、まずは部会長について、立候補はいるか。(挙手)ほかにいるか。(なし)推薦はいるか。(推薦)」

立候補 — ヒリストバ委員

推薦 — 楊委員(→辞退)

事務局五十嵐職員「では、残っている候補者のヒリストバさん、1分くらいでスピーチをお願いする。」

ヒリストバ委員「立候補する予定ではなかったのですが、心の準備ができていないが、責任の重さを感じている。イベントの実行委員会でいろいろな準備をする中で、みなさんとの関係性が深まったりとか、川崎市にもっと貢献したいと思うよう

になったりしたので、この部会でもみなさんと協力して一緒にやっていきたい。」

事務局五十嵐職員「それでは、決をとる。ヒリストバさんに賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）部会長はヒリストバさんに決定だ。（拍手）続いて、部会長を決めたい。立候補はいるか。（挙手）ほかにいるか。（なし）推薦はいるか。（なし）」

立候補 — 野田委員

事務局五十嵐職員「では、野田さん、1分くらいでスピーチをお願いします。」

野田委員「テーマに対して、自分がどれくらい知識を持っているかわからないが、部会長のことも、みなさんのこともサポートしたい。」

事務局五十嵐職員「では、野田さんが副部会長ということで賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）野田さんに決定した。部会長と副部会長が決定したので、あらためて簡単にあいさつをお願いします。」

ヒリストバ部会長「テーマに関して、知らないことも多いと思うので、みなさんで知識を増やしながらやっていきたい。」

野田委員「私自身は、子どもはいないが親しい知人がひとり親になってしまい苦労しているという話も聞いたりしている。メンタルヘルスに関しては、私もたまに病んだりすることもある。ぜひ、みなさんで意見を出し合っていきたい。」

事務局五十嵐職員「それでは、このあとの進行は部会長をお願いします。部会長と打ち合わせをするので、5分ほど休憩とする。」

（休憩）

ヒリストバ部会長「部会を再開する。まずは、部会の名称について事務局から説明をお願いします。」

（事務局五十嵐職員が資料6に基づき説明）

ヒリストバ部会長「何か質問はあるか。（なし）では、意見はあるか。」

楊委員「3つのテーマに共通しているキーワードは「ケア」ではないかと思う。」

李智永委員「13期と同じになるが「安心生活」ではどうか。」

野田委員「「ケア」にするなら「健康ケア」はどうか。」

ヒリストバ部会長「「健康ケア」なら「ヘルスケア」の方がよく使われている気がする。」

する。」

タバ委員「「安心生活支援」はどうか。」

ヒリストバ部会長「ほかにあるか。（なし）それでは、順番に聞いていく。

賛成のものに手を挙げてください。」

ヘルスケア - 0人

健康ケア - 0人

生活ケア - 0人

安心生活 - 5人

安心生活支援 - 3人

ヒリストバ部会長「多数決の結果、「安心生活部会」に決まった。次に、審議計画について事務局から説明をお願いする。」

（事務局五十嵐職員が資料6に基づき説明）

ヒリストバ部会長「何か質問や意見はあるか。（なし）では、1人2回まで手を挙げてもらい、多いものからにする。」

産後支援制度 - 5人

外国籍のひとり親支援 - 5人

メンタルヘルスケア - 6人

ヒリストバ部会長「メンタルヘルスケアが一番多かったので、11月はメンタルヘルスケアに決定だ。外国籍のひとり親支援と産後支援制度が同数だがどうするか。」

事務局五十嵐職員「できれば、資料を準備する関係で産後支援制度が1月、外国籍のひとり親支援が2月だと助かるのだがどうか。（異議なし）」

ヒリストバ部会長「では、11月がメンタルヘルスケア、1月が産後支援制度、2月が外国籍のひとり親支援に決定した。次に、次回の審議に必要な資料のリクエストについて事務局から説明をお願いする。」

（事務局五十嵐職員が資料6に基づき説明）

ヒリストバ部会長「質問はあるか。（なし）では、リクエストは何かあるか。」

李智永委員「データの種類はどのようなものか。報告書やアンケート調査などか。」
事務局五十嵐職員「報告書やアンケート調査の結果などはもちろん提供できる。それ以外にも、市が公開しているものなら資料として提供できる。」

ドウマヤス委員「相談窓口や相談に関するデータがあれば知りたい。」

野田委員「それと、メンタルに問題を抱えている人はどうやって解決するのか。もしデータがあれば知りたい。」

ドウマヤス委員「ほかの自治体の取組なども、何かよい事例があれば知りたい。」

李智永委員「3年以内に帰国してしまう人の割合とその帰国理由がわかれば知りたい。私の知り合いだと、帰国を考えている理由としてメンタルの問題を抱えている人もたくさんいる。」

楊委員「公的にサポートできる部分と、民間の心療内科などでサポートする部分があると思うが、そのあたりの市がサポートできる範囲について知りたい。」

ヒリストバ部会長「ほかに何かあるか。（なし）それでは、これで安心して生活部会を終わりにする。全体会の再開は16時30分だ。」

【B部会】

事務局高橋専門調査員「時間になったので、部会をはじめます。まずは、部会長、副部会長を選出するが、それまでは私が進行させていただきます。最初に、部会長、副部会長の役割と選出方法について確認する。（資料5に基づき説明）それでは、部会長から決めたい。立候補はいるか。（挙手）ほかにいるか（なし）では、推薦したい人はいるか。（推薦）」

立候補 — イトウ委員

推薦 — 尹委員（→辞退）

事務局高橋専門調査員「それでは、候補が1人なので決をとりたい。賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）決定だ。（拍手）それでは、簡単に抱負をお願いします。」

イトウ部会長「まず、この部会に参加した理由を少し話したい。私の両親はともに日本人だが、私はアメリカで生まれ、2歳のときに日本に来た。父の思いで私はアメリカ国籍のまま日本で育ち、学び、途中、10年間アメリカでの生活も経験した。日本での生活の中で、時々スムーズにいかないことを経験す

るなど、^{がいこくせき}外国籍だからということで、^{ちい}小さなことだが^{ちが}違いを感じて^す過ぎてい
る。^{わたし}私はこの^{たちば}立場を生かして、^{にほんじん}日本人と^{がいこくじん}外国人の^か架け橋となったり、^か架け橋
とまではいなくても、^{たが}お互いを^{りかい}理解し合う、^{みと}認め合う^あきっかけづくりだっ
たりができたらと思っっている。この^{ぶかい}部会の^てテーマは^{むづか}難しいものが多いが、^{ぜんいん}全員
がなるべく^{いけん}意見を^い言えて、^{みな}みんなが^{なつとく}納得のいく^{こた}答えを^{みちび}導き出せるように、^{つと}努
めていきたい。（^{はくしゅ}拍手）」

^{じむきょくたかはしせんもんちようさいん}事務局高橋専門調査員「ありがとうございます。それでは、^{つづ}続いて^{ふくぶかいちよう}副部会長を決
めたい。^{りつこうほ}立候補はいるか。（^{りしんいん}李晨委員）では、^{すいせん}推薦はいるか。（^{なし}なし）」

^{りつこうほ}立候補 — ^{りしんいん}李晨委員

^{じむきょくたかはしせんもんちようさいん}事務局高橋専門調査員「^{さんせい}賛成の人は^{ひと}手を^て挙げて^あください。（^{ぜんいんさんせい}全員賛成）^{けつてい}決定だ。

（^{はくしゅ}拍手）それでは、^{かんたん}簡単に^{ほうふ}抱負を^{ねが}お願いします。」

^{りしんいん}李晨委員「^{しごと}仕事の^{つごう}都合で^{へいじつ}平日夜の^{せいふくいんちようぶかいちようかいぎ}正副委員長部会長会議への^{さんか}参加が^{むづか}難しいので、
^{ぶかいちよう}部会長には^{りつこうほ}立候補しなかったが、^{ふくぶかいちよう}副部会長として^{ぶかいちよう}部会長を^{ささ}支えていきたい。

（^{はくしゅ}拍手）」

^{じむきょくたかはしせんもんちようさいん}事務局高橋専門調査員「それでは、このあとの^{しんこう}進行は^{ぶかいちよう}部会長に^あしていただく。^{ぶかい}部会
^{ちよう}長と^う打ち^あ合わせをするので、^{ふん}5分ほど^{きゅうけい}休憩とする。」

（^{きゅうけい}休憩）

^{いと}イトウ^{ぶかいちよう}部会長「それでは、^{ぶかい}部会を^{さいかい}再開する。まずは、このあとの^{なが}流れなどについて
^{じむきょく}事務局から^{せつめい}説明を^{ねが}お願いします。」

（^{じむきょくたかはしせんもんちようさいん}事務局高橋専門調査員が^{しりよう}資料6に^{もと}基づき^{せつめい}説明）

^{いと}イトウ^{ぶかいちよう}部会長「まずは、^{ぶかい}部会の^{なまえ}名前についてだ。^{なに}何か^{しつもん}質問や^{いけん}意見はあるか。」

^{れい}レイ^ーマン^{いん}委員「^{しゃかいせいかつ}「社会生活」がよいと思う。」

^ぺペ^ーラ^{いんちよう}委員長「^{あんしんせいかつ}「安心生活」がよいと思う。」

^{ゆん}尹^{いん}委員「^{じょうほう}「情報・^{しゃかい}社会」はどうか。」

^{いと}イトウ^{ぶかいちよう}部会長「^いいくつか^あ案が^で出てきたが、^{きょう}今日、この^{なか}中から^き決めるということによ
いか。（^{いぎ}異議なし）では、^{じゅんばん}順番に^き聞いていくので、^{さんせい}賛成のものに^て手を^あ挙
げて^あください。」

^{しゃかいせいかつ}社会生活 — ^{にん}3人

あんしんせいかつ - ひとり
安心生活 - 1人

じょうほう・しゃかい - 8人
情報・社会 - 8人

イトウ部会長「部会の名前は「情報・社会部会」に決定した。続いて、審議計画について、事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料6に基づき説明)

イトウ部会長「何か質問や意見はあるか。」

ペレーラ委員長「これまで話し合ったことがない市政参加は、準備に時間がかかるかもしれないので、最後がよいかと思う。」

イトウ部会長「ほかに何かあるか。(なし)それでは、1人2回まで手を挙げてもらい、多い順にしたい。」

じょうほう - 10人
情報 - 10人

にほんごがくしゅうのば - 10人
日本語学習の場 - 10人

しせいさんか - 3人
市政参加 - 3人

イトウ部会長「情報と日本語学習の場が同数なので、この2つに絞って順番を決めたい。」

じょうほう - 3人
情報 - 3人

にほんごがくしゅうのば - 9人
日本語学習の場 - 9人

イトウ部会長「それでは、11月が日本語学習の場、1月が情報、2月が市政参加に決まった。では、次回に向けての説明を事務局からお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料6に基づき説明)

イトウ部会長「何か質問はあるか。(なし)では、資料のリクエストはあるか。」

李敏敏副委員長「まず、各区の日本語クラスがどこで開かれているのを知りたい。それと時間だ。可能であれば、どのくらいの人に参加しているのかも知りたい。ボランティアの状況についても情報があれば知りたい。」

李晨委員「どうやって広報しているのを知りたい。」

林委員「2つある。1つは、どのような人が学んでいるのか。年齢や国籍、理由、

目的などがわかれば知りたい。もう1つは、日本語学習以外で企業や団体と連携した実績があれば知りたい。」

レイバーマン委員「子ども向けの学習についてと、それがどのように宣伝されているのか知りたい。」

イトウ部会長「そろそろ時間だが、何かあるか。」

事務局高橋専門調査員「学校での取組についてはリクエストがなかったが、今回の審議テーマでは学校内での子どもへの日本語支援については扱わないという理解でよいか。（異議なし）」

イトウ部会長「それでは、これで部会を終わりにする。全体会の再開は16時半だ。」

【全体会】

ペレーラ委員長「それでは、全体会を再開する。まずは部会報告をA部会からお願いします。」

ヒリストバ部会長「A部会の報告をする。部会長は私になって、副部会長は野田さんになった。部会の名前は安心生活部会に決まった。審議する順番は、メンタルヘルスケア、産後支援制度、外国籍のひとり親支援の順に決まった。」

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。（なし）続いて、B部会の報告をお願いします。」

イトウ部会長「部会長は私、イトウになった。副部会長は李晨さんになった。部会の名前は情報・社会部会に決まった。審議する順番は、日本語学習の場、情報、市政参加の順になった。」

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。（なし）次に、実行委員会報告だ。交流イベント実行委員会の報告からお願いします。」

ヒリストバ部会長「みなさん、ここ1か月ほどいろいろとご協力いただきありがとうございます。動画の作成についてだが、今日までということになっているので、まだの方もぜひ参加して欲しい。写真についても、多くの方から提供していただいた。クイズへの協力もお願いします。クイズの景品のお菓子も結構そろった。」

ペレーラ委員長「次に、ニューズレター編集委員会の報告をお願いします。」

李晨委員「本日は、来年3月発行予定のNo. 76の記事について話し合った。空い

ているスペースについては、身近な生活の中で感じていることについて、楊さんが書いてくれることになった。」

ペレーラ委員長「今日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いする。」

【事務連絡】

- ・災害時支援ボランティア養成セミナーについて

ペレーラ委員長「私からも1点、報告がある。2024年に市制100周年イベントがあるが、そのための会議に出席してきた。これから15のアクションを提示して、さまざまな取組をしていくそうだ。それと、2024年に向けて緑化フェアも実施していくとのことだった。緑化フェアに参加する場合には、10月7日までに申し込みをとのことだったのだが、スケジュール的に会議で諮ることができないため、事務局とも相談して今回は参加を見送った。今後、また動きがあれば情報を共有したり、会議で報告したりしていく。これで、今日の日程は終了だ。次回の会議は、11月13日、日曜日、ここ、国際交流センターで開催する。これで、2022年度第3回第1日に会議を終わりにする。」